



聖徒のための情報誌

今月号の内容

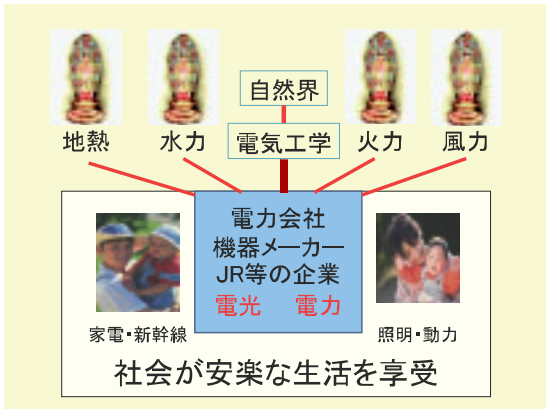
- 慰霊と復興への道(1面)
- 日蓮大聖人の歩まれた道・よろこび佛教語解説(2面)
- 法華経のお話⑥(3面)
- よろこび法話(4面)

平成23年(2011年)12月1日(木) 12月号

発行所 千873-0002 大分県杵築市南杵築1539番地 妙経寺内

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄  
 日蓮宗霊断師会事務局  
 電話 0978-62-3570  
 FAX 0978-62-3571  
 編集人 松本 恵昌  
 購読料 1部 105円  
 毎月1回1日発行  
 日蓮宗霊断師会ホームページ  
<http://www.yorokobi-reidanshikai.jp>  
 よろこび投稿メール  
[yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp](mailto:yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp)



さて、当山に電気が通ったのは、四月十六日の午后四時頃でした。寺族で拍手をし、電力マンに感謝した事です。

3・11東日本大震災にあたり、賜りましたご支援に対し、篤くお礼を申し上げます。

突如、命を奪われた二万人余の方々は、「自分達の分も生きて欲しい」と訴えておられます。生き延びた私たちが、どう生きればその思いに応え得るのか...を、考えます。



岩手県山田町善慶寺聖徒団長  
 本部長 総合研究所副所長  
 別格本山妙顕寺 加歴四十八世  
 三浦 恵伸

# 慰霊と復興への道

二十世紀は電化生活の普及期で、電光の照明で明るい社会を、電力による動力源で安楽な生活を享受しています。その電化社会のシステムを略図にしてみますと、上図のようになります。

電気関連会社を中心になって支えています。私たち消費者は電気知識が無くとも、わずかな電料金をチケット代で、電化時代を謳歌しているのです。

簡単・早い・安い・安全・便利がキーワードでしたが、現在は原子力発電所の放射能汚染や二酸化炭素排出による地球温暖化対策など難問山積です。かと言って、今更電気の無い生活はあり得ません。

都会は不夜城となっている事を宇宙衛星からの映像は捉えています。大変高度な文明社会になった筈ですが、二十一世紀に入った今、世界中でデモが起きています。

格差社会で閉め出された側が、がまん限界に達しています。閉め出した側は人口のパーセントと言われ、自分達さえ良ければいいというエゴが心を占めているの

です。

塗炭の生活苦に陥って居る方も聞ならば、支配している側の心も闇に塗りつぶされて居る事さえ気がつかないのです。このままでは地上の平和は破綻します。

此事は私たちの社会には電気が違う次元の、光と力が必要だと教えています。それが、七五〇年前に日蓮大聖人が命がけで人類に遺して下さった、南無妙法蓮華経の道なのです。

エゴで占められた心の闇を照らしては、法華経譬喩品第三に示す「今この三界は皆これ我が有なり、その中の衆生はことごとくこれ我が子なり」と、人類は皆佛の子として兄弟姉妹であることを悟り、御親である壽量御本佛の御心を体しては、人をして浄土建設に向かわせる動力源となるお題目。発電した電気の通り道は電線として見えますが、お題目の霊気の通り道は見えません。霊的なゆえんです。此事を法華経如来壽量品第十六には、

「如来秘密 神通之力」と説き、天台大師は「感應道交」とお諭し

人に佛教の弁えは無くとも、日蓮大聖人のお題目を信じて唱えれば、即 壽量御本佛と御心が通い、大慈大悲に包まれて安心して成長し、真の大人となってお互いが住み良い社会を築くようになる、日蓮佛教の、

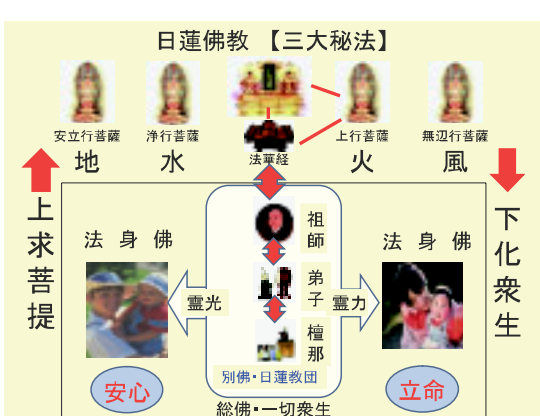
「三大秘法」

本門の題目・祈り・救い・安心  
 本門の本尊・悟り・佛子の自覚  
 本門の戒壇・行い・化他行に出る  
 という法門です。

「此の三大秘法は二千余年の当初地涌千界の上首として、日蓮隨に教主大覚世尊より口決せし相承なり。今日蓮が所行は靈山の稟承に芥爾計りの相違なき、色も替はらぬ壽量品の事の三大事なり」(三大秘法要承事)

それは右図のように電化のシステムと同じなのです。

自然界にひそかに在る電気を取り出して人間の生活に用いているように、霊界にひそかに在る生命の御親との交流を深め絆を強くして、人類の生命活動を正しい軌道に乗せ、この地上に本来の浄土相を顕現させる光と力のシステムであり、それは**電化生活**と言えます。



その中心となつてこのシステムを支えているのは、日蓮宗の僧俗であり、更に、御義口伝において、「総じては如来とは一切衆生なり、別しては日蓮の弟子檀那なり、されば無作の三身とは末法の法華経の行者なり」(壽量品二十七箇の大事)と、一人でする信仰ではなく、我等僧俗のその異体同心こそが、「**実佛**」であると祖師はお示しです。電気関連会社の企業努力に負けない、日蓮教団の結束と精進が今まさに求められています。

年の瀬にあたり、今一度宗祖日蓮大聖人が望まれたお題目信仰の有り様に思いを馳せ、私たちの使命の重大さを肝に銘じて新年を迎えましょう。

**津軽宇田山 閻魔寺**

12月11日 午前11時より  
 「大黒天神大祭」  
 毎月 最終日曜日「盛運祈願会」

〒030-1403  
 青森県津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2  
 TEL. 0174-25-2712

住 職 工藤 堯幸  
 副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

**日蓮宗 東光山妙正寺 聖徒団**

12月4日(日)午前11時  
 釈尊成道会・星祭祈願祭  
 毎月1日午前10時「盛運祈願会」

妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄  
 〒071-1423  
 北海道川上郡東川町東町2丁目6-3  
 TEL. 0166(82)2714  
 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび

**美濃乃國 常唱寺 聖徒団**

〒501-3734  
 岐阜県美濃市千畝町2738-2  
 TEL/FAX 0575(33)1430

**本山 妙顕寺**

日蓮大聖人御眞骨奉安

齊藤日軌貴首著  
 「日蓮宗の戒壇、その現代的意義」  
 国書刊行会

CD 「感謝百万遍陀羅尼」 好評発売中!  
 「ないないブルース」

〒327-0843  
 栃木県佐野市堀米町264  
 TEL 0283-22-1524  
 FAX 0283-22-4194  
<http://www.sano-myoukenji.jp>

日蓮宗霊断師会会長  
 感通寺聖徒団団長  
**新聞 智雄**

〒162-0044  
 東京都新宿区喜久井町39  
 TEL 03-3209-8782  
 FAX 03-3208-7966